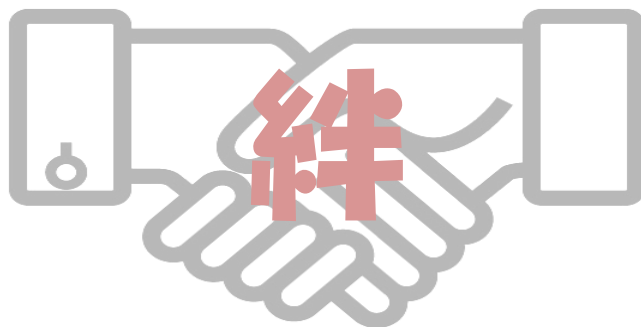


平成26年度

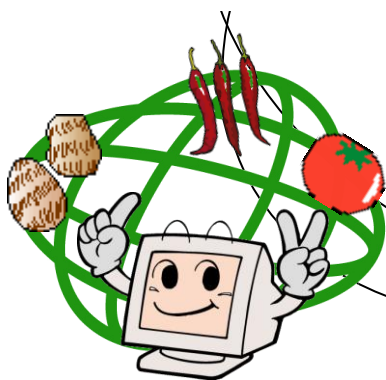
がんばる地域サポート事業 活動事例集



地域の未来を考え、
行動していきたい



地域を支え合うための
新しい組織を立ちあげた



地域の資源をもっと
知ってもらいたい!



みんなが楽しめる
空間を作りたい!

中津川市役所 定住推進部 市民協働課
TEL 66-1111 (内線325)

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津西	手賀野地区「絆」会	地域相互の絆づくり	恩田 昭次	2
2	中津南	尾鳩地域防災を考える会	尾鳩地域の防災活動	酒井 孝行	4
3	落合	落合みこし会	落合みこしで地域の活性化事業	多治見 憲二	6
4	落合	下落合石場搗き保存会	石場搗き保存事業	原 勝己	8
5	落合	落合歴史サークル	落合の歴史を学び情報発信事業	玉置 克彦	10
6	落合	スミレ会	落合の植物観察と観察コース整備事業	玉置 克彦	12
7	落合	中山道落合姫宿の会	中山道落合宿の観光客おもてなし事業	紺野 みえ	14
8	阿木	ひな工房「花てまり」	地域に笑顔のエッセンス事業	鷹見 靖子	16
9	阿木	阿木城址保存会	阿木城址遺構の保護及び環境の充実と活性化	安藤 隆示	18
10	阿木	阿木大いちょう保存会	阿木長楽寺の大いちょう保護育成・広報・環境整備	戸塚 智尚	20
11	阿木	楽c k y	元気いっぱいキラキラ輝ける時づくり	三宅奈緒美	22
12	阿木	ものづくりの里阿木を紹介する会	ものづくりの里阿木紹介プロジェクト	渡邊 眞平	24
13	神坂	神坂活性化推進協議会	花の里神坂事業	張山 英雄	26
14	山口	山口里山研究会	里山景観形成、里山資源有効活用事業	大島 隆	28
15	坂下	坂下地区郷土文化財保存会	坂下郷土資料館整備事業	早川 英雄	30
16	加子母	かしも野山で子育て会議	加子母自然楽習キャンプ	中島 千秋	32
17	加子母	加子母はいばち研究会	はいばち・山の食文化伝承事業	安江 尚	34
18	加子母	図書ボランティア ひなたぼっこ	ほん※との広場	梅田 好美	36
19	付知	つながるベンチの会	つながるベンチで木工教室	北原信太郎	38
20	付知	じいばあず	地元産の豆・米を使って、味噌。甘酒。地たまり作り	平岩 哲子	40
21	福岡	田瀬ごそば会	遊歩道環境整備	草野 國満	42
22	福岡	付知川ヤングあゆ釣りスクール実行委員会	付知川ヤングあゆ釣りスクール実行委員会	大山 安彦	44
23	蛭川	ひるかわ元気村	地域の休遊地及び人材を活用した農作物の栽培と加工品の販売	小田保津美	46
24	蛭川	いのちもり	映画上映会	古田 浩之	48
25	蛭川	クラブ薬研	一色川の環境保全と森林資源の活用	土井 鈴治	50
26	蛭川	柏ヶ根地域の環境を守る会	柏ヶ根地域を住み良い所にする	林 富世	52
27	蛭川	蛭川ママさん朝市会	ひるかわてづくり朝市（世代を超えた地域の交流を目的とするイベント）	玉谷八重子	54

■パートナーシップ部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者	ページ
1		中山道落合宿観光活性化研究会	中山道落合宿観光活性化事業	水野克司	56
2		中津川中山道歴史文化研究会	小中学生向け小冊子【中山道落合宿かいわいーさんぼー】編集事業	市岡文彦	58

平成 26 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

ふりがな 団体名	てがのちくきずなかい 手賀野地区「絆」会		地域名	中津西地区		
			会員数	25名		
ふりがな 代表者名	おんだしろうじ 恩田 昭次		延べ 参加人数 内(会員数)	600 人(300人)		
事業名	地域相互の絆づくり					
総事業費 内(補助金額)	677,380 200,000		実施期間	平成 26年 4月 7日から 平成 27年 3月 12日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	③ ④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの観眼に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	* 地域の中で絆を深め、近所づきあいを活発にして助け合いの気持ちをもつ地域をつくりたい。					
	具体的な活動内容					
	* 三世代交流会における					
	①ふるさとの食文化の伝承					
	②地域環境美化事業					
	③夏祭り等、伝統文化の伝承					
	環境美化事業					
	三世代交流事業・夏祭り事業					
	4月 6月 8月 10月 12月 2月					
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
* 三世代交流会や、夏祭り、秋祭り、敬老会での「絆」会の活躍が好評であった。						
* 夏日での花のみずやりに、ご苦勞があった。						
今後の展開 (自立に向けた活動)						
①中京学院大学と地域のつながりを深め、融和と協調の発展に努めたい。						
②目的とする諸事業へのねらいを意識して、理解と協調を得る。						
③諸事業に創意工夫と娯楽的要素も取り入れて、楽しく活動したい。						
④地域づくりの進展は、大らかで無理なく、楽しく、多数の人が参加できること。						

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

6月 8日 (日) 手賀野地区三世代交流会 (会所ヶ丘クラブ)



6月28日 (土) プランターに植込み、運搬、設置 (二区下組クラブ)



8月 9日 (土) 手賀野地区夏祭り (雨天のため公会堂ホールで実施)



平成 26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

ふりがな 団体名	オバトチキボウサイカンガエルカイ 尾鳩地域防災を考える会	地域名	中津南尾鳩地域						
		会員数	41 人						
ふりがな 代表者名	サカイタカユキ 酒井孝行	延べ 参加人数 内(会員数)	367人(140 人)						
事業名	尾鳩地域防災活動		実施期間	平成26年4月 1日から 平成26年12月30日まで					
総事業費 内(補助金額)	214,399円 (200,000 円)								
事業 分類	番号	①②③	活動 分野	番号	②③⑨				
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉	②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育					
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業の目的									
自分達の住んでいる場所の地形的リスクと過去の災害を伝え啓発することで、自分の身を守るにはどうしたらよいかを考えてもらうための、地域の安全防災の確保を目的とする。									
具体的な活動内容									
・地形的リスクを知るために、中津川市にある活断層の場所の調査。尾鳩地域の地形の調査。過去発生した災害について調査。これらを冊子にまとめ尾鳩区民と関係各所へ配布した。尾鳩区集会場と中津川市鉱物博物館と健康福祉会館で「中津川市の地形的リスクを学ぶ」研修会を開催した。戸沢川砂防堰堤に感心を持ってもらうために「あまご育成事業」と子供との防災学習会を開催。土砂災害警戒区域内の草刈、清掃活動を行い、防災パトロールを実施。私設雨量計を活用して豪雨時の用水止水活動と状況の携帯メール送信を行った。									
主な活動の流れ									
事 業 内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	活動-1	戸沢川堰堤内事業(あまご育成)			←				→
	活動-2	防災パトロールの開催		5月15日				9月14日	
	活動-3	子供との防災学習会の開催					8月21日		
	活動-4	尾鳩地域防災講演会の開催					8月31日		
	活動-5	中津川市の地形的リスクを学ぶ冊子の作成			←			9月3日発行	
	活動-6	鉱物博物館で地形的リスクの研修会の開催						9月6日	
	活動-7	中津川市の地形的リスクを学ぶ講演会の開催(健康福祉会館)							10月17日
	活動-8	尾鳩地域内土砂災害警戒区域内草刈事業	←						→
活動-9	私設雨量計による減災活動	←						→	
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)									
平成21年5月から河川の清掃活動、尾鳩地域の自主防災活動をスタートさせ、今年度で6年を迎え、今年も清掃活動を継続することができた。今年度は中津川市の地形的リスクを知ってもらうため、調査を行い冊子とした。特に尾鳩地域の地形的リスクを知ってもらい、その上で土砂災害に対する非難のタイミングおよび自主避難の大切さを啓発した。尾鳩区の集会場では71名もの区民が集まってくれたが、鉱物博物館では尾鳩区民は僅か8名の参加に終わった。2週連続であったことも問題かも考えた。しかしながら、冊子の配布および中日新聞で紹介されたことから、「行けばよかった」の声もあった。									
今後の展開 (自立に向けた活動)									
自分達の住んでいる場所の地形と過去の災害を知ることは防災を考える上で重要と考える。引き続き、「地形的リスクを知って防災を考える」の啓発を進めて行きたい。その中でこの6年間で調査した尾鳩地域の地形的リスクと過去の災害をまとめた冊子を作成し自立としたい。(平成26年度作成した冊子では載せられなかったことを含めたい)									

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

戸沢川堰堤内事業(あまご育成事業)



清掃活動実施状況



子どもとの防災学習会の開催



防災パトロール実施状況



地形的リスクを学ぶ研修会の開催



用水止水活動

《用水止水に関する資料》

・第1 第2 用水止水条件

1. 時間雨量が 20mm を超え更に雨が降り続くと判断した場合。
2. 降り始めからの雨量が 100mm を超えた場合。
3. 24 時間雨量が 100mm を超えた場合。

王子エフテック事務所上の第1・2 用水の水門を閉じ止水する。
止水した時間および雨量情報を登録されている関係者の携帯電話へメール送付する。

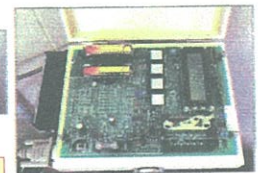
★ 止水解除

止水解除は、天気予報を確認し雨が降り続かないことを確認後、徒歩で第1 用水、土砂災害特別警戒区域内をパトロールして安全点検後、解除を行う。
また、止水解除時間を関係者の携帯電話へメール送付する。

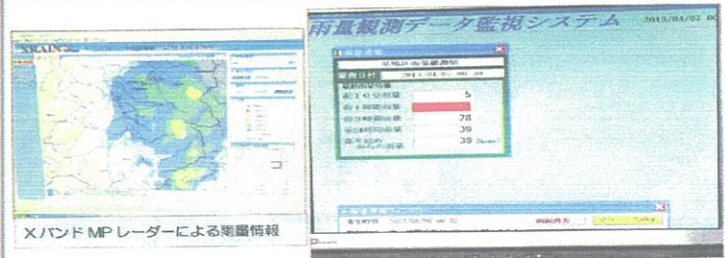
尾鷲地区に設置されている施設雨量計



私設雨量計は、10 分間ごとの雨量を 2 分間でデータ処理して数値としてパソコンに表示できる。(変換はロガーシステム)



時間雨量 20mm 以上・連続雨量 100mm を超えると警報ブザーが作動して知らせる。



尾鷲地域防災啓発講演会の開催



健康福祉会館防災啓発講演会の開催



平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあみこしかい		地域名	落合		地区
	落合みこし会		会員数	25		人
ふりがな 代表者名	かいちょう たじみ けんじ		延べ 参加人数 内(会員数)	180		人(25 人)
	会長 多治見 憲二			・美濃市花みこし見学		5名
事業名		落合みこしで地域の活性化事業		・みこし作成		65名
総事業費 内(補助金額)		488,761 円 (200,000 円)	実施期間	平成 26 年 6 月 11 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで		110名
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号 ⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<input type="checkbox"/> 落合みこしを「おいでん祭」に参加させることにより、落合地域の魅力を地区内外にPRし、地域の活性化に貢献します。 <input type="checkbox"/> 落合みこしの整備・補修を行います。 <input type="checkbox"/> 「おいでん祭」へ唯一の地域みこしとしての参加します。 <input type="checkbox"/> 落合地域のPR活動に寄与します。 <input type="checkbox"/> 楽しくみこしを担いでいくことを継承していくために、会員相互間の交流と親睦の充実を図ります。						
具体的な活動内容						
<input type="checkbox"/> 落合地域みこしを保存していくために、落合みこし会を設立します。 <input type="checkbox"/> 現存のみこしの検証を行います。 <input type="checkbox"/> けが人が出ないように、みこし軽量化等を実施します。 <input type="checkbox"/> チラシや口コミで、みこしの担ぎ手の増員をはかり、交流の拡充を推進します。						
主な活動の流れ						
事業 内容	・落合みこし会設立総会 ・美濃市花みこし見学 ・業者と打合せ ・がんサポ申請	・業者と打合せ ・みこし現状把握 ・打合せ(3回)	・みこし作成 ・落合地区巡回 ・おいでん祭参加 ・反省会			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
<input type="checkbox"/> いろいろな会の寄せ集めであった落合みこしを統一して、落合みこし会を設立しました。 <input type="checkbox"/> みこしの軽量化とそれによる強度の脆弱性について素材と予算の折り合いに苦労しました。 <input type="checkbox"/> 最終的には、アルミにて枠組みを作り、メンバーの奉仕により組み立てることができました。 <input type="checkbox"/> 担ぎ手の若返りと募集については、趣味の仲間に声を掛け100名を越える担ぎ手を確保することができました。 <input type="checkbox"/> 「婚活みこし！」を企画・募集しましたが、時間と方法が悪くメンバー集まらず中止になりました。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<input type="checkbox"/> 結果としてみこしの一部が破損したため修復と補強をする必要があります。 <input type="checkbox"/> 「婚活みこし！」など新企画による担ぎ手増強と親睦事業の拡充を図ります。 <input type="checkbox"/> 落合地区も方々に「落合みこし」を知って頂き協力ねがえる様なPR方法に実施していきたいと思えます。						

※この様式は活動事例集と同一編集・印刷の可否を問わないでください

■みこし作成



■おいでん祭参加



平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	しもおちあいしばづきほぞんかい		地域名	落合		地区	
	下落合石場搗き保存会		会員数	42		人	
ふりがな 代表者名	はら かつみ		延べ 参加人数 内(会員数)	176		人(108 人)	
	原 勝巳			石場搗き(イベント参加) 4回			
事業名	石場搗き保存事業						
総事業費 内(補助金額)	円 (200,000 円)		実施期間	平成 26 年 6 月 11 日から 平成 27 年 3 月 20 日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号		④
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	<input type="checkbox"/> 地域で伝承されている石場搗きを保存することにより、地域での連帯感とのコミュニケーションを向上させ、地域の活性化を図ります。 <input type="checkbox"/> 資機材の老朽化により存続が危惧されているため、資器材の更新を図ります。 <input type="checkbox"/> がんばる地域サポート事業の支援を機に改めて持続できる組織の確立を図ります。						
	具体的な活動内容						
	<input type="checkbox"/> 白山神社祭典、地区行事への参加体制を図ります。 <input type="checkbox"/> 器具の補充、点検をおこないます。 <input type="checkbox"/> 付知地区などのお祭りに出演し、新たな実演場所の確保、広報活動をおこないます。 <input type="checkbox"/> 参加されるお客様に十分PRできるように新たに法被の作成をおこないます。						
	主な活動の流れ						
		・白山神社祭典	・菓子まつり イベント参加		・中山道落合宿 まつり参加	・器具整備	・妙見神社祭典参加
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)							
<input type="checkbox"/> 大きなイベントのひとつで参加予定の「つけち夢まつり」が雨天により参加できなかったことが残念でした。 <input type="checkbox"/> 石場餅搗きは、お客様自身が参加できるため好評で、イベントを盛り上げる演出ができました。 <input type="checkbox"/> 天候に左右されるため、イベント開催時の天候の見極め、決断には何時も一番苦勞しました。 <input type="checkbox"/> 法被を新しく新調したことにより、会員の石場搗への保存継承の意識が高まりました。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
<input type="checkbox"/> 「がんばる地域サポート事業」のご支援をいただき持続できる基盤の整備ができました。 <input type="checkbox"/> 今後も地元を基盤に他地区へのPRを拡大していき、お客様にも自由に参加できる魅力ある石場餅搗きを保存していくことに努力していきます。 <input type="checkbox"/> 石場搗には多くの人手が必要なため、後継者の育成にも力を入れて、保存継承に努力していきます。							

※この様式は活動事例集として編集・印刷のうえ変更・活用させていただきます。

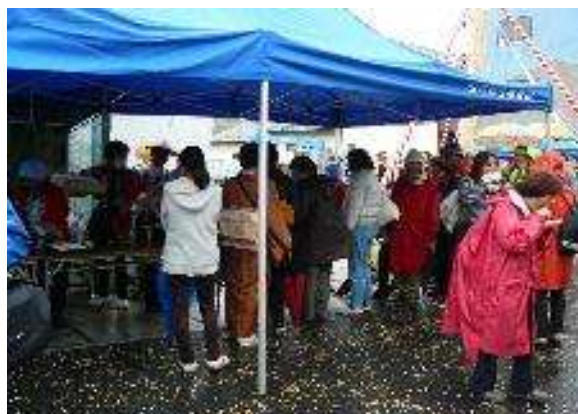
■法被の作成



■中山道落合宿まつり



■宿まつりで餅の無料配付



平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいきしきさーくる		地域名	落合		地区
	落合歴史サークル		会員数	15		人
ふりがな 代表者名	たまき かつひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	294 人(294 人)		
	玉置 克彦			・勉強会・探訪・ 公民館まつり準備	172人	
事業名	落合の歴史情報発信事業			・中山道看板設置	38人	
事業名			・軽便学習冊子化	84人		
総事業費 内(補助金額)	300,812 円 (200,000 円)		実施期間	平成 26 年 6 月 10 日から 平成 27 年 3 月 13 日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
<input type="checkbox"/> 国史跡に指定された文化財他、落合地域には多くの文化遺産がありますが、その保存継承が課題となっている。その落合の歴史・文化を次世代に伝承していくことを目的とします。 <input type="checkbox"/> 落合宿を中心とした埋もれている歴史・文化の掘起し作業をおこなっていきます。 <input type="checkbox"/> 落合宿の「森林鉄道」、「落合の製塩事業」の学習会の開催とその成果として冊子化を目指します。						
具体的な活動内容						
<input type="checkbox"/> 落合の歴史と次世代への伝承の為の学習及び市内地域(中津川宿、苗木等)の学習をおこないます。 <input type="checkbox"/> 落合宿のPRと地域の歴史関心度を高める取り組み(中山道案内看板等設置)をおこないます。 <input type="checkbox"/> 「軽便(湯舟沢森林鉄道)」についての学習に組み込み、その成果物として冊子を作成します。 <input type="checkbox"/> 「製塩事業」の学習と冊子化に向けての取り組みをおこないます。						
主な活動の流れ						
事業 内容	勉強会・探訪					→
			看板設置			→
	「軽便」現地調査等					→
		編集作業	→	編集委員会		→
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<input type="checkbox"/> 落合宿及び中津川市内他地域の歴史への認識が深まりました。 <input type="checkbox"/> 落合の中山道を訪れる人にわかり易い看板等の設置ができました。 <input type="checkbox"/> 軽便(森林鉄道)の歴史、役割、軌道跡等次世代に伝える事が出来る冊子が作成できました。 <input type="checkbox"/> 会員の勧誘や活動のPRのため、落合公民館まつりで歴史サークルの活動の展示を行った。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<input type="checkbox"/> 「落合の製塩事業」、「嵩左坊」、「養蚕」、「用水路」など次世代に知っておいてほしい落合の歴史についての冊子化を行っていきます。 <input type="checkbox"/> 「塚田手鑑」についても学習の取組を進めていきます。 <input type="checkbox"/> 冊子を作成し、販売を強化することで、今後の運営費、印刷代などを確保する方法を検討していきます。						

※この様式は活動事例集として編集・印刷のうえ変更・活用させていただきます。

■ 公民館まつり 展示



■ 現地学習



■ 軌道跡調査

■ 軌道跡調査



■ 編集委員会



■ 冊子「軽便」の発刊



平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	すみれかい	地域名	落合	地区		
	スマレ会	会員数	11	人		
ふりがな 代表者名	たまき かつひこ	延べ 参加人数 内(会員数)	103 人(88 人)			
	玉置 克彦		・観察会 76人	・公民館まつり 16人	・銘板設置作業 11人	
事業名	落合地域の植物観察と 観察コース整備					
総事業費 内(補助金額)	217,000 円 (200,000 円)	実施期間	平成 26 年 6 月 10 日から 平成 27 年 3 月 13 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	<input type="checkbox"/> 落合地域をフィールドにして、野草花、樹木等の観察を行い、自然や植物の生態を区民・市民にPRすることで、自然環境についての理解を深め、動植物保護や自然環境、環境保全の意識の高揚を図ることを目的としています。 <input type="checkbox"/> これまでの観察記録と過去の文献を併せて製本し、次世代へ伝えます。					
	具体的な活動内容					
	<input type="checkbox"/> 植物観察活動の普及と宣伝活動を行います。 <input type="checkbox"/> 落合の巨木・銘木の銘板取り付けを行います。					
	主な活動の流れ					
		植物観察	(開講式)	巨木・銘木の銘板取り付け	植物観察の写真展示	
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）						
<input type="checkbox"/> 植物観察活動の普及と活動成果として公民館まつりに植物写真の展示しました。 <input type="checkbox"/> 落合公民館の図書ルームに落合地区に生態する植物の写真を常設展示しました。 <input type="checkbox"/> 樹木に銘板設置作業を実施しました。 <input type="checkbox"/> 誰でも自然とふれあえる植物観察コースの企画しました。 <input type="checkbox"/> 花めぐりマップを作成しました。(予定)						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<input type="checkbox"/> 落合の植物写真を展示(落合公民館、各号区公会堂、鉱物博物館等)していきます。 <input type="checkbox"/> 落合地区の主な樹木の種名と説明板を作成していきます。 <input type="checkbox"/> 植物観察コースの整備、案内マップの作成し、落合の豊かな自然をPRしていきます <input type="checkbox"/> 冊子「落合の植物」の発刊(続編)していきます。 <input type="checkbox"/> 自然植物観察会を企画し、行政やまち協と連携して実施していきます。						

※この様式は活動事例集として編集・印刷のうえ変更・配布される

■ 公民館まつり展示準備



■ 公民館まつりに植物の写真展示



■ 落合川左岸の植物観察



■ 収集した植物の調査



■ 樹木銘板設置作業



■ 落合の巨木・銘木調査



平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかせんどうおちあいひめじゅくのかい		地域名	落合		地区
	中山道落合姫宿の会		会員数			6人
ふりがな 代表者名	この みえ		延べ 参加人数 内(会員数)	18 人(6人)		
	紺野 みえ			・鉢植えの準備	6人	
事業名	中山道落合宿の観光客 おもてなし事業		・五宿の打合せ	6人		
総事業費 内(補助金額)	206,000 円 (200,000 円)		実施期間	平成 26 年 6 月 5 日から 平成 27 年 3 月 13 日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<input type="checkbox"/> 落合宿の歴史と文化を掘り起こし、訪れる観光客に女性の目線からのおもてなしを磨くことを目的とします。 <input type="checkbox"/> 中山道落合宿及び史跡中山道の景観環境整備を行うことで地域の活性化を図ります。 <input type="checkbox"/> 本陣の公有化に伴い、中山道落合宿の歴史と文化の保存伝承により観光客へのPRを図ります。 <input type="checkbox"/> 会員の拡大と会員相互の親睦を図ります。						
具体的な活動内容						
<input type="checkbox"/> 中山道の町を花で飾り、さわやかな景観環境づくりを行います。 <input type="checkbox"/> 中山道ウォーク(中山道落合宿まつり)のイベントに参加し、女性らしいおもてなしを行います。 <input type="checkbox"/> 中山道五宿姫宿の会と連携し、より中山道の活性化を図ります。						
主な活動の流れ						
事業 内容	・会の立上げ ・規約の作成 ・がんサポ申請	・鉢植の花準備 ・Tシャツの作成 ・PRチラシ作成	・中山道五宿 の宣伝 ・本町、白木屋、馬籠、郵便局、落合宿の絵展示	・妻籠宿で五宿の 打合せ ・花の見回り ・秋の花植え	・中山道まつりで、 栗で羊かん、からすみづくり ・JRギャラリー五宿の展示PR	・中山道まつりに向け て、花の準備
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
<input type="checkbox"/> 中山道五宿姫宿の会として連携し情報交換、交流会等でこの会の活動につなげる事ができました <input type="checkbox"/> 中山道落合宿まつりはあいにくの天気でしたが、抹茶のふるまいを行い、予想以上の人が来て下さりお客様の笑顔を見て、会の活動に自信を持つことができました <input type="checkbox"/> ぎふ17宿体験プログラムに落合宿藍染め体験会を開催し落合宿のイメージアップに貢献しました						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<input type="checkbox"/> 本陣の修繕完成までには、中津川宿の境から馬籠宿の境まで、花飾りなど景観環境整備を統一する活動を目指していきたいと考えています。 <input type="checkbox"/> 落合宿ならではのおもてなしを企画実施していく中で、今後の活動の自立に向けて、運営資金を得る仕組みづくりを考えていきたいと思ひます。 <input type="checkbox"/> 私たち自身が楽しく活動をすることにより、会員の拡大を目指していきたいと思ひます。 <input type="checkbox"/> まちづくり推進協議会と連携しながら、本陣の地元管理の受け皿づくりを検討していきます。						

※この様式は活動事例集として編集・印刷のうえ変更・配布される

■ 中山道鉢植え配付①



■ 中山道鉢植え配付②



■ ぎふ17宿体験プログラム藍染体験



■ 落合宿まつり抹茶ふるまい①



■ 落合宿まつり抹茶ふるまい②



■ 落合宿まつり抹茶ふるまい③



平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ひなこうぼう はなてまり	地域名	阿木	地区	
	ひな工房 花てまり	会員数	20	人	
ふりがな 代表者名	たかみ やすこ	延べ 参加人数 内(会員数)	60 人(20 人)		
	鷹見靖子		サークル教室参加延べ人数	600人	
事業名	地域に笑顔のエッセンス事業		教室材料準備参加延べ人数	500人	
事業費 内(補助金額)	204,458 円 (200,000 円)	実施期間	平成 26 年 6 月 3 日から 平成 27 年 3 月 11 日まで	ひなまつり集客数	12,000人
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他	
事業の目的					
<p>少子高齢化などで店舗が無くなり買い物難民が増える、元気がなくなる・・・ 若者が故郷に帰らないことなど、[地域の将来に不安を抱いて生活しています。地域が抱える問題は深刻ですがせめて「今を笑顔で暮らしてほしい」が私たちの願いです。 私たちは特産品づくりを通して地域に笑顔のエッセンスを一振りします。小物づくりをしているお母さん、漬物上手なおばあちゃん、日曜大工のお父さん、野菜作りのおじいちゃん・・・地域の方が持っている得意技を掘り起しいきいきと暮らす火種作りを行います。</p>					
具体的な活動内容					
<p>6年目を迎える「あぎの里のひなまつり・つるしかざり」は周辺地域に知れ渡り、地域の行事の重要ポストに位置付けられてきました。「つるしかざり」の特産品化、物作りの方の掘り起しを行い、販売意欲へ結び付ける。「あぎの里のひなまつり・つるしかざり」のPRに努め、集客販売に協力する。会員の合同作品を作り、かじょうに華やかさを加え「訪れたいイベント」となるよう、地域住民も見学者も笑顔になれるよう努力する。 明知鉄道とタイアップを図り鉄道利用につなげるよう企画を立てる。</p>					
主な活動の流れ					
	役員会 サークル開始			チラシ等印刷 PRキャラバン	実行委員会 ひなまつり準備、開催 反省会
	4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの集客は前年を上回り12%増の12,000人であった。つるしかざりを購入する方も増えた。 ・明知鉄道イベント列車、3日間76名の利用、シャトルバスの利用も153名(内明鉄イベント76名)となり大きな効果を得た。・恵那市観光協会の「春の恵那路めぐり」日帰りバスツアーの企画により3日間30名の集客につながった。明鉄イベント列車で悪天候に対する対応が悪かった。アンケートの意見で早めの謝罪と翌日の対応ができた。 ・3年目にして地域住民に販売意欲がみられ、当初の目標は達成した。 ・会場、駐車場の問題でこれ以上の集客は難しい。駐車場の整備が出来るとよい。 					
今後の展開(自立に向けた活動)					
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金が終わり収入が断たれるため、自立するための早めの計画が必要、次回にむけて販売物を準備し収入源を考えていく。 ・阿木で「つるしかざり」が購入できるというお客様の意識が出てきたので、特産品である表示を考えていく ・地域性のある「つるし」を考案する。大いちょう・花ハス・風神など特徴を活かす。 					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



大学生とつるしかざり



ウェルカム桜玉
(今年度合同作品)



新聞掲載



明知鉄道・恵那市観光協



蕎麦の花のつるしかざり



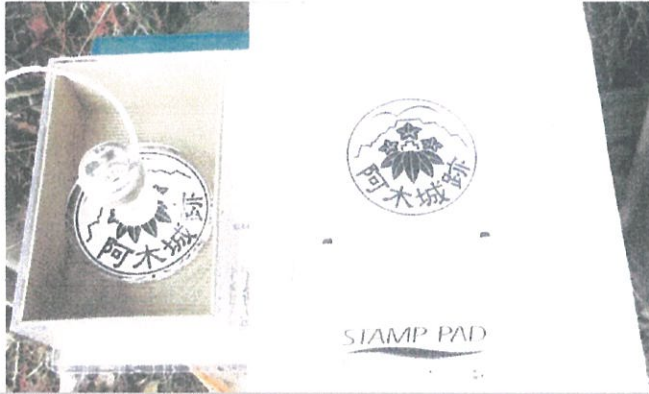
つるしかざり教室風景

ふりがな 団体名	あぎじょうしほぞんかい	地域名	阿 木 地区
	阿木城跡保存会	会員数	35名 人
ふりがな 代表者名	あんどう たかし	延べ 参加人数 内(会員数)	165 人(45 人)
	安 藤 隆 示		
事業名	阿木城跡遺構の保護及び 環境の充実と活性化		
総事業費 内(補助金額)	201,885 円 (200,000 円)	実施期間	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

事業 分類	番号	3	活 動 分 野	番号	4 1 0	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				

事 業 内 容	事業の目的						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視界展望充実のための間伐整備 ・ 歴史研究のため遺構保護、発掘調査 ・ 観光案内図、歴史の追求、パンフレットの作成 						
	具体的な活動内容						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺構保護、視界充実のための下草刈り、散策進入道の整備 ・ 疑木を利用し進入道の土の流出防止対策としての保護階段の増設 ・ 増加しつつある訪城者対応用として <ul style="list-style-type: none"> ① 阿木城跡保存会ブルゾン着用 ② 阿木城跡の スタンプを作成し道案内及び説明資料の配布を行った。 						
	主な活動の流れ						
		中世山城見 学会 8名 登城用杖の 作成	公報中津川 取材対応 下草木刈り 総会	遺構の保護 進入路草刈り 案内図、歴史 資料の作成	阿木城跡保存会 ブルゾン、スタ ンプ作成 会員勉強会 11名	ウオーキング 11名 ブルゾン着 用 スタンプ押	プラ疑木による 大手道階段作り 下草刈り 間伐作業
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐作業は早期実施はかなわなかったが、地権者及び市の協力により、3月に実施することになった。 ・ 団体訪城者対応時にブルゾンを着用し資料にスタンプを押印し案内説明ができ阿木城跡のアピールができた。 						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光パンフレットは、歴史的な背景もあり市文化振興課との連携ができず来年度の課題となってしまったが、市及び古城研究家等と共同調整し完成させる。今後は、他地区の同グループとの交流を実施するとともに、不明な点を追求、研究し阿木地区の活性化を実現する。 							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



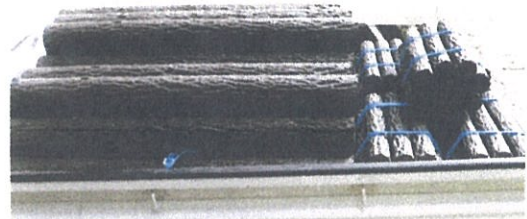
見学者用スタンプ(資料ポストに常設)



ブルゾンにてのPR



疑木階段設置↑ 資材→



平成 26 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	あぎおおいちようほぞんかい 阿木大いちょう保存会		地域名	阿 木 地区			
			会員数	30 人			
ふりがな 代表者名	とづか ちしろう 戸塚 智尚		延べ 参加人数 内(会員数)	2000 人(150 人)			
事業名	阿木長楽寺の大いちょう 保護育成・広報・環境整備事業			施肥・草刈り・周辺整備 :60人 阿木大いちょうまつり :90人 観光・おまつり来場者 :1850人			
総事業費 内(補助金額)	218,000 円 (200,000 円)		実施期間	平成26年 7月 1日から 平成27年 3月 1日まで			
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業の目的							
岐阜県指定の天然記念物「長楽寺のイチョウ(登録名)」を阿木の自然、歴史、文化と共に尊重し、次の世代へつなぐための保護育成・啓蒙活動を目的とし、この活動を通して地域の親和と振興、保護意識の向上を図るため。							
具体的な活動内容							
1.阿木大いちょう祭りの開催(11月 第3日曜日(本年度は16日でした)) 2.樹木医等の専門家の指示によって施肥、幹の苔取りなどの樹勢維持・回復に必要な処置 →本年度は施肥以外の処置を行うことが出来ず、今後の最も重要な課題ととらえております。 3.大いちょう周囲の景観整備・維持管理に必要な事項 →補助金を生かして、周囲の柵を添付の写真の通り、落ち着いた趣に改善できました。 4.黄葉時期など、大いちょうに関する情報発信 →添付写真の通り、NHKでの放映、『Clife』での紹介のおかげもあって、例年にないほどの来場者でした。							
主な活動の流れ							
事業 内容	施肥	草刈り・掃除		阿木大い ちょうまつり	幹周の 計測	2月	
		安全柵・塀の 修理	おまつり準備				
	4月	6月	8月	10月	12月		
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
<ul style="list-style-type: none"> ・先述の事柄でもありますが、とにかく沢山の来場が叶いました。しかし、「カーナビで案内されない」「姫栗の長楽寺さんへ行ってしまった。」との、道のりに関するご意見が目立っていました。 ・夏には有志を募って、幹周県下第一の飛騨国分寺さまへ訪問し、ご住職様より維持についての苦労話や、先方の大いちょうの特徴、エピソードなどを伺うことが出来ました。 ・環境省『巨樹データベース』に登録されている幹周が3.0mと小さく登録されていたので、再調査し、8.4mにて訂正して頂きました。 ・第5回『阿木大いちょうまつり』は、本年も晴天に恵まれ盛大に開催することが叶いました。 							
今後の展開 (自立に向けた活動)							
<ul style="list-style-type: none"> ・おまつりの段取りばかりに気を取られてしまい、大いちょうの維持・育成についての勉強、実践がおろそかとなっていました。次年度の課題ととらえ、もっと大きな葉っぱをつける大いちょうの木へと樹勢の回復に取り組むべきであると感じています。 ・大いちょうまつりの内容についても、少しずつながら多方面からの意見を汲み取り、マンネリ化しないように心がけて行きたいと考えております。 ・道のりについては、案内看板の設置、紹介記事へのホームページアドレスの掲載など、記事等を目にしたはじめての方が道のりに迷わないように取組みたいと思います。 							

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



10月の台風で、折れた枝



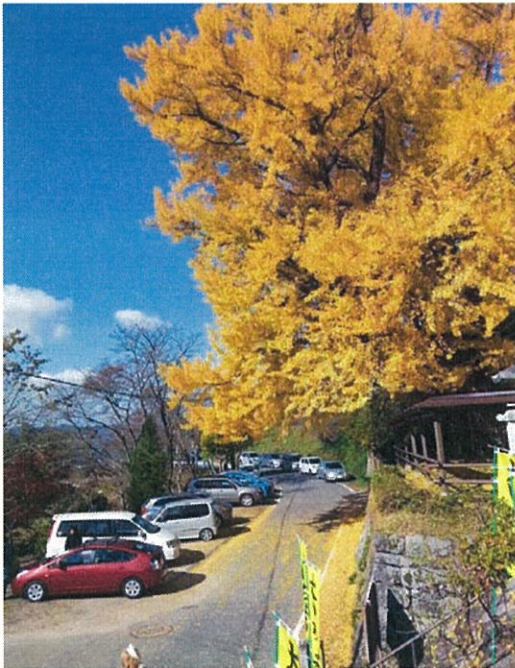
以前の柵・塀
朱色がはげ、青い鉄柵が不
似合いました。



購入したベンチ3脚



鉄柵を撤去、竹を用いて柵とし、茶色で塗装。
落着いた趣となりました。



阿木大いちょうまつり
平成26年
11月16日(日) 樹齢1100年

阿木大根木 長楽寺境内
11:00~ほのぼのの開祭

★ライトアップは、11月の午後5時~9時

- ここしかないかも!
地元出店なかよし市
- 大いちょうのチカラを携えて
大いちょうストラップ
- こどもワクワクお祭り出店!
新名物・地やさい販売などなど
※雨天でも開催します
- 大いちょう慶讃祈願法要
- 中学生・安岐太鼓クラブ披露
- 大いちょうのお昼ごはん
(お子さまによる絵巻の巻道体験)
- こどもパワハラ演奏 (阿木ハサケチーム「楽sky」)
- 苗木城太鼓演奏 (苗木城太鼓保存会)
- 14:30ころ 投げもち ~めでたくおひらき

主催: 阿木大いちょう保存会
協賛: 阿木区長会
(平成25年度中津川市かんぽる地区まちづくり事業の補助を受けています)

みちのり

お祭りのポスター1个 大盛況の様子↓



中日新聞『Clife』に掲載。また、NHKでの放送の影響もあって、東海3県からの来場者が急増。
← 放送後は平日にもかかわらず、数十台の車が並ぶ。

Clife 11月号
2014 くらぶと99

きれいな文字の
基本ルール

『南無』

阿木大いちょうまつり

ふりがな 団体名	らつきい	地域名	阿木		地区	
	楽cky	会員数	46	人		
ふりがな 代表者名	みやけ なおみ	延べ 参加人数 内(会員数)	748 人(46 人)			
	三宅 奈緒美					
事業名	元気いっぱいキラキラ輝ける時づくり 事業					
総事業費 内(補助金額)	252,705 円 (190,000 円)	実施期間	平成 26 年 6 月 3 日から 平成 27 年 3 月 11 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号 ④		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	<ul style="list-style-type: none"> ・会員、特に子供達に活動を通じ、規則マナーを守ることの大切さ、自主性を持つこと、自信を持ち自己表現することができるように取り組んでいく。 ・全会員の大人と子供が1つのことに取り組み、絆を深める。 ・市内外の祭りやイベントに参加し、阿木をPRする。 					
	具体的な活動内容					
	毎週金曜日、阿木高校体育館での練習 阿木内外のイベントに参加をし、阿木の名前をPRする					
	主な活動の流れ					
	イ 参 加 し た	毎週金曜日練習 5/11しゃくなげ祭り	毎週金曜日練習 6/1シクラメン慰問 6/22安岐そば食べ てはなそ〜会 7/26シクラメン夏 祭り	毎週金曜日練習 8/14阿木夏祭り 8/19シクラメン慰 問	毎週金曜日練習 9/15阿木地区敬老会 10/19区民運動会 10/26中津川市菓子祭 11/16大イチョウ祭り 11/30安岐そばシクラメン 祭	毎週金曜日練習 12/7阿木文化祭 12/14瑞浪バサラ カーニバル
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ・練習・イベントに参加する回数を重ねるにつれ、あいさつの声が大きくなり、顔を上げて踊ることができるようになり、自己表現が少しずつできるようになってきた。 ・荷物等、整理整頓が徐々にできるようになってきた。 ・指導・練習方法・子供のやる気を出させるのに苦勞した。 ・衣装に「AGI」を入れたことにより、楽cky=阿木を知ってもらえる様になった。 						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> ・阿木地域の子供達によさこい鳴子踊りを通じ、自己表現の力を伸ばし、活躍の場をもうける。 ・親子、地域の絆をつなげる役割を担いたい。 ・イベントに積極的に参加し、引き続き阿木をPRしていく。 						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



■H26.5.11 しゃくなげ祭り



■H26.6.1 シクラメン慰問



■H26.6.22 安岐そば食べてはなそ〜会
(ひとり暮らし高齢者食事交流)



■H26.11.16 大イチョウ祭り



■H26.11.30 特産安岐そば・シクラメンまつり



■12/7阿木文化祭



■H26.12.14瑞浪 バサラカーニバル



■練習風景

平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ものづくりのさとあぎをしようかいするかい		地域名	阿木		地区	
	ものづくりの里阿木を紹介する会		会員数	10		人	
ふりがな 代表者名	わたなべしんべい		延べ 参加人数 内(会員数)	人(人)			
	渡邊 眞平						
事業名	ものづくりの里阿木紹介プロジェクト						
総事業費 内(補助金額)	205,920 円 (190,000 円)		実施期間	平成 26 年 6 月 20 日から 平成 27 年 3 月 4 日まで			
事業 分類	番号	2		活動 分野	番号	4	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業の目的							
<p>岐阜県の東濃地方でも阿木地域を知られる方はまだまだ多くありません。 阿木にはいろいろものづくりで努力されている方が多くあります。 阿木地区でもものづくりに取り組んでいる皆さんを紹介して、作品の魅力と作者の意気込みを紹介して、将来は作品展を開催して阿木地域へ少しでも多くの人に来ていただき、作品を手にして又作品を食して豊かな心をはぐくんでいただきたいと思っております。</p>							
<p>阿木地域では花き園芸作家、陶芸作家、木工作家、果樹園、ケーキ・パン工房等数々のものづくりに携わっている皆さんが沢山お見えになります。しかし一人一人では作品のPRに限度があります。阿木地区有志、区長会が協力して作品のPRと販売に協力出来たら、作者の皆さん方もより一層努力され、阿木地域全体の活性化につながると思っております。</p>							
主な活動の流れ							
事業 内容	ものづくり作家に協力していただき、作者の顔写真、作品の写真を撮り作家の夢、コメントを頂く。						
	紹介マップの構成を考える。ポスターの構成を考える。						
	紹介マップ、ポスターを区長会に提示して許可を頂く。						
	マップ、ポスターを阿木地区主要施設、中津川市内事務所、明知鉄道等に掲示していただく。						
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）							
2～3人の作者に協力していただけなかったのは残念でしたが、他の8人の作者には協力していただき又非常に喜んでいただけたので、この事業を推進してよかったと思っております。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
<p>案内マップ、ポスターを中津川市役所、各地区総合事務所、各地区事務所、に掲示していただく。 中津川観光協会にお願いして中津川の観光地に掲示していただく。 恵那市観光協会、明知鉄道等にお願いして恵那市内にも岩村町にも掲示していただく。 中津川市の観光課と協力してインターネットで配信する。 各新聞社にお願いして、特集記事で紹介していただく。</p>							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

恵峰ホームニュース(平成二十七年二月二十一日掲載)

「ものづくりの里阿木」 ポスターとパンフレット完成



中津川市阿木でもものづくりに携わる人々をしようとして、「ものづくりの里阿木」を紹介するポスターとパンフレットが完成しました。写真。観光協会も商工会も阿木地域でもものづくりに励む人々を紹介...

中津川市阿木でもものづくりに携わる人々をしようとして、「ものづくりの里阿木」を紹介するポスターとパンフレットが完成しました。写真。観光協会も商工会も阿木地域でもものづくりに励む人々を紹介...

地蔵と花の寺、スウィーツ工房、手づくり木工、絵画・木工、陶造形、果樹園など、8つの団体と個人の意気込みや、作品にかける思いを掲載したガイドブック「ものづくりの里阿木」3千部とA2ポスター100部を制作。市役所、各事務所をはじめ、恵那市内などにも展示、配布する予定です。

メンバーは「将来はジョイント展を開きたい」と張り切っています。

ものづくりの里 阿木 事務局 TEL 0573(63)2731

ものづくりの里ポスター

ものづくりの里「阿木」
【作家陣い合わせ先】

伊高地区 中津川市阿木3510番地	☎0573(63)2117
陶器 龍谷 龍谷 龍谷 中津川市阿木1061番地	☎0573(63)2130
陶器 龍谷 龍谷 龍谷 中津川市阿木0219番地174	☎0573(63)2086
陶器 龍谷 龍谷 龍谷 中津川市阿木0727番地11	☎0573(63)2010
陶器 龍谷 龍谷 龍谷 中津川市阿木0588番地1	☎0573(63)2069
小倉橋平 中津川市阿木4609番地	☎0573(63)2037
龍谷 龍谷 龍谷 中津川市阿木0477番地	☎0573(63)2071
龍谷 龍谷 龍谷 中津川市阿木101番地1	☎0573(63)2078

ものづくりの里「阿木」事務局
☎0573(63)2731
〒509-7211 中津川市阿木4888番地 恵那管内

ものづくりの里案内マップ

平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	みさかかせいかすいしんきょうぎかい		地域名	神坂		地区		
	神坂活性化推進協議会		会員数	36		人		
ふりがな 代表者名	はりやま ひでお		延べ 参加人数 内(会員数)	197 人(60 人)				
	張山 英雄			打合せ(11人) 下刈、植栽地、地拵え、花木の植栽(186人)				
事業名	花の里神坂事業		実施期間	平成 26 年 5 月 日から 平成 27 年 3 月 25 日まで				
総事業費 内(補助金額)	160,653 円	(160,000 円)						
事業 分類	番号	①②③		活動 分野	番号		③④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流					
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育					
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他						
事業 内容	事業の目的							
	湯舟沢河川公園に植栽されている桜、花桃、楓等の花木を管理していくと共に、新たに当該事業で植栽する花木を管理をしつつ、湯舟沢河川公園が四季折々に楽しむことのできる公園に整備し、市内外からの観光客を誘致し、活力ある地域づくりにつなげるものとする。							
	具体的な活動内容							
	<ul style="list-style-type: none"> ・既に植栽されている花木の管理(下刈、病虫害駆除の実施) ・最終年度の植栽地の地拵え(雑木等の刈払い、整地) ・病虫害駆除の実施(薬剤散布) ・つる草(くずの根)処理(薬剤注入) ・花木(花桃)の植栽 							
	主な活動の流れ							
		事業審査申込み書提出	役員会	役員会	役員会	役員会		
			植栽地の下刈	既植栽地の下刈	植栽地地拵え	植栽地地拵え	植栽地地拵え 花木の植栽	
		4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)								
<ul style="list-style-type: none"> ・既に植栽されている花木も大きくなり、季節には河川両岸が桜、花桃で埋め尽くされ、市内外からも多くの観光客が訪れるようになっている。 ・植栽地が広範囲に及ぶことから、管理は大変であるが、地域住民の協力を得行われている。花桃、桜の名所になりつつあり、将来が楽しみである。地域住民にも認識され、住民の絆も出来ている。 ・今後は、他にある花の名所にも劣らぬ観光名所になることを期待している。 								
今後の展開(自立に向けた活動)								
<ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後は、神坂地域活性化協議会と協議し植栽木全体の管理(下刈、病虫害駆除等)年間計画を立てながら計画的に実施し地域の活性化につなげていく。 ・一人でも多くの方に当地を訪れていただけるよう広くPRに努めていく。 								

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



6月 植栽地の下刈り



10月 植栽地地拵え

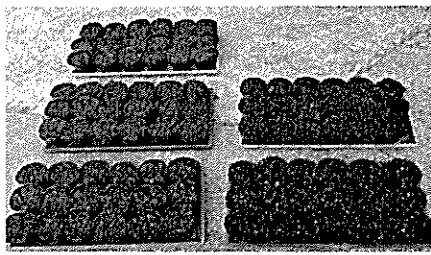
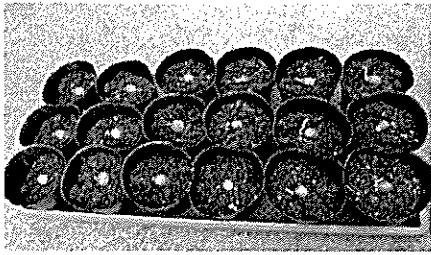


2月 花木の植栽

平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	やまぐちさとやまけんきゅうかい 山口里山研究会	地域名	山口 地区		
		会員数	13人		
ふりがな 代表者名	おおしま たかし 大島 隆	延べ 参加人数 内(会員数)	53 人		
事業名	里山景観形成、里山資源有効活用		会議5回37名、種子収集植付3名、 先進地視察5名、荒廃地伐採作業8 名、		
総事業費 内(補助金額)	180,000 円 (160,000 円)	実施期間	平成26年 6月9日から 平成27年 3月31日まで		
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	③⑥⑨⑩⑪
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的				
	手入れのされない山林の間伐や荒廃地の伐採、広葉樹の植林を進めて見通しの良い里山づくりと、薪等の副産物利用を図る活動に取り組むことにより、 ①地域に住む人々が山への関心をもつような意識づくり ②人が山へ行き来することによる鳥獣被害の軽減づくりに寄与し、元気で賑わいのあるコミュニティづくりを図りたい。				
	具体的な活動内容				
	・研究会に関心のある方との意見交換会や研修会の開催 ・先進地視察による里山組織の取組活動を研修 ・共同作業実施による仲間づくり ・チェーンソー等の機械による安全作業の研修				
	主な活動の流れ				
		● 伐採作業	● 会議 どんぐり(クヌギ)拾い～植えつけ	● 会議 ● 先進地視察(可児市)	● 会議
	4月	6月	8月	10月	12月
					2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
昨年度より、個々で薪を活用している方に声を掛けて仲間づくりを始め、30代～60代の13名により、他の市町村で活動している団体の取組や運営方法を研修したりして和気あいあいとした活動をしています。今年の4月に荒廃地の雑木を伐採したことがきっかけで、高齢独居の方の手が付けられない山際の荒廃農地の伐採をしたり、道路沿線整備作業時に竹の伐採など行っているが、まだ試行錯誤の段階のため無償のボランティア作業となっている。 会員の研修も兼ねて山林での間伐も行っていく予定でいるが、なかなか適地が探せずに苦慮している。					
今後の展開 (自立に向けた活動)					
薪や椎茸原木の販売等の木材利用の展開と、荒廃地の伐採請負などで持続できる運営を図っていきたい。					

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



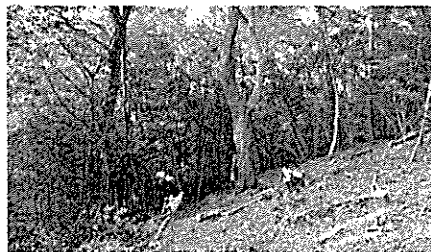
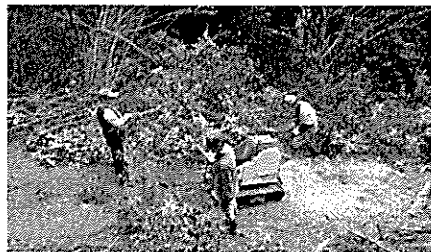
どんぐり(クヌギの種子)を収集し、プランターに植えつける。植え替えられる大きさになってから移植する予定。



可児市長坂の「里山クラブ可児」の取組や活動について視察

活動区域内に拠点施設を作り、区域里山整備活動に積極的に取り組んでいたのを学んできた。

特に、作業時に発生した伐採木の小さなものを、砕いて現地に還元する「チップパー」を使った作業は片付けなどを考えると有効な手段と感じた。



第2町内会の山際の荒廃化した桑畑について、伐採し、見通しを良くすることで、鳥獣が里へ侵入防止を図った。

作業箇所は、高齢独居のお婆さんの土地で、本人が地域に迷惑をかけるので伐採したいができなくて困っているところを、無償で伐採し、今後の活動の試算作りを図った。



作業箇所にはいばらが密集してなかなか思うように場際できなかつたが、ほぼ伐採ができた。

伐採木の処理に課題が残った。



平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	さかしたちくきょうどぶんかざいほぞんかい		地域名	坂下地区	地区	
	坂下地区郷土文化財保存会		会員数	25	人	
ふりがな 代表者名	はやかわひでお		延べ 参加人数 内(会員数)	60 人(12 人)		
	早川 英雄					
事業名	郷土資料館整備事業					
総事業費 内(補助金額)	円 (200,000 円)		実施期間	平成 26 年 7 月 1 日から 平成 29 年 11 月 30 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		④⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的					
	1. 地域に眠る郷土の古民具、埋蔵文化財、書籍等を集め、郷土資料の喪失を防ぐと共に保存を行う。					
	2. 集めた郷土資料の修復、分類により地域住民に向けて展示が行えるようにする。					
	3. 資料館オープンイベントを開催し、周知及び住民の見学促進を図る。					
	具体的な活動内容					
	1年目の活動					
	1. 仮称「坂下地区民俗資料室」は旧坂下病院手術室であるので、資料保存庫、資料展示室として利用するための工夫。					
	2. 現在、古民具、埋蔵文化財などが乱雑に詰め込まれている状況であり、この状態を解消しつつ保存庫、展示室を整えて行く作業。					
	3. 棚など分会・組み立てる工具、膨大な量の埋蔵文化財を収納する箱など購入準備作業。					
	4. 古民具の大移動、埋蔵文化財を遺跡別、年代別、種類別等を考慮し袋詰め箱詰めと記録個票作成作業。					
主な活動の流れ						
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）						
1. 各所に積み上げられていた古民具類は定めた保存庫に収納できた。まだ、分類は出来ていない。						
2. 古民具等展示スペースをある程度整備できた。展示法を工夫はこれからである。						
3. 埋蔵文化財では古墳時代、中世時代の物についてかなり収納できた。						
4. 古文書等書籍は目録作成の最中である。保存場所等は手つかずである。						
5. 会員数は25名だが、他の活動に従事してみえたり、年齢が高く健康などのこともあり、活動参加会員は10数名であった。						
今後の展開(自立に向けた活動)						

※この様式は活動事例集として編集し自由なので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



↑ 9/26古民具収納庫整備と移動



↑ 8/22古民具収納庫整備



↑ 展示室の整備前の状況

1/23整備後の展示室→

↓ 8/22埋文収納作業



↓ 10/24埋文収納作業



ふりがな 団体名	かしもはやまでこそだてかいぎ		地域名	加子母		地区
	かしも野山で子育て会議		会員数	8		人
ふりがな 代表者名	なかしま ちあき		延べ 参加人数 内(会員数)	102		人(20 人)
	中島 千秋					
事業名	加子母自然楽酬					
総事業費 内(補助金額)	115,104 円 (90,000 円)		実施期間	平成 26 年 5 月 1 日から 平成 26 年 12 月 31 日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ③⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	・加子母の子どもたちに故郷の素晴らしさを感じてもらい、地域の歴史や自然にもっと興味を持ち、地域の伝統文化や自然を守り継承してもらいたい。					
	具体的な活動内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・加子母川で、漁業組合の方に教えていただきながら、魚などの取り方を教えてもらい、自分の手で捕ってみる。 ・加子母川にどんな生き物がいるかを知り、川を大切にしてもらおうようお話しをする。 ・竹でコップを作ったり、火起こしを体験してみる。 ・加子母にどんな木があるかなど、恵那こぶしの会の方にレクチャしていただきながら、実際に木で自分のスプーンを作る。 ・木の特徴や見分け方などを知り、また、自分で作ったものを大切に長く使ってもらえるようにする。 					
	主な活動の流れ					
		・打合せ ・募集			・打合せ ・募集	
			・準備・開催 ・反省会		・準備・開催 ・反省会	
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ・加子母川にどんな生き物がいるか、また、昔はどんな風にして川遊びをして魚を捕まえていたかなどわかり、子ども達は川で泳ぐだけでなく、生き物をどんな風にして探して捕るかなど、川での遊び方を学んだ。 ・親子参加もあったが、普段川遊びではそのように生き物を捕ることなどなかったため、来年は子どもたちと生き物探しをしてみたいという親御さんが多くみえた。 ・木のスプーン作りでは、まずどんな木が加子母にあるかなどを知る事ができ、木にはそれぞれどんな特徴があるかや見分け方を勉強できた。 ・また、自分で木のスプーンを作る中で、小刀などなかなか使う機会のない道具を使い、使い方なども学んだ。 						
今後の展開(自立に向けた活動)						
自分たちだけでなく加子母内にある様々な団体と連動して、今後も加子母の子どもたちが、故郷をもっと知る機会を増やし、昔の生活を知る事などにより、故郷を大切に想う気持ちを育てていきたい。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



福崎公園の前の川で、地元の魚に詳しい方に教えていただきながら、石をめくったりしながら



スケールに入れて、魚の特徴を良く見ながら捕獲！いろいろな柄や色の魚がいて、子ども達は興



午後は火起こしを体験！「昔の人は火を起こすのも一苦労だったんだ」と、みんな感心しきり。



冬はスプーンづくり。まずは、先生に木のお話を聞きます。親子参加も多く、スプーンづくりが



スプーンは小刀などを使って削ります。なかなか削れず、3時間ほど集中して自分の思う形に整



最後は焼きペンで自分の好きな文字や模様を描きます。自分で作った世界で一つだけのスプー

平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	かしもはいばちけんきゅうかい 加子母はいばち研究会		地域名	加子母 地区			
			会員数	36 人			
ふりがな 代表者名	かいちょう やすえ なおし 会長 安江 尚		延べ 参加人数 内(会員数)	100人(40人)			
事業名	山の食文化伝承事業						
総事業費 内(補助金額)	106,000 円 (90,000 円)		実施期間	平成26年6月1日から 平成26年2月15日まで			
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	東濃地方を中心とする山間地域では、ハチノコ食が盛んであるが食文化の均一化と、対象となる可食昆虫の減少により、衰退しつつある。しかしその一方で地域文化として見直されており都市住民や地域の子供たちに伝承しつつ地域資源として活用。						
	具体的な活動内容						
	(1)会員の視察研修会の実施(2月、9月) (2)飼育技術の向上、はいばちコンテストの実施(11月)、飼育箱の研究会(6月) (3)はいばち文化の伝承、都市住民の交流会の実施(11月)						
	主な活動の流れ						
			計画会議		研修会 コンテスト 交流会	反省会 研修会	
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	ネオニコチノイド系農薬の被害が深刻であるので散布地域から離れた場所の設定、飼育箱の研究などで当地域の成果は顕著なものがある。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
はいばちの保護、伝承活動を継続。 昆虫食文化の普及活動 会員相互の研修、会員募集							

平成26年11月2日開催「第11回 加子母はいばちコンテ



手塩にかけて育てた巣



親蜂に注意しながら取り出しま



飼育後巣箱より取り出された”



優勝者は”4, 6kg”を飼育



合わせて開催された”料理研修



”はいばち”の成虫(クロスズメバ

この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

ふりがな 団体名	としよぼらんていあひなたぼっこ 図書ボランティアひなたぼっこ		地域名	加子母地区																							
			会員数	7人																							
ふりがな 代表者名	うめた よしみ 梅田 好美		延べ 参加人数 内(会員数)	178人(31人)																							
事業名	ほんとのひろば			移動図書 約100人(20人)、図書 まつり 約70人(7人)、ハーブ研 修 8人(4人)等																							
総事業費 内(補助金額)	120,786円 (120,000円)		実施期間	平成26年5月3日から 平成27年2月16日まで																							
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号 ⑩																						
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流																						
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育																						
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他																								
事業の目的																											
<ul style="list-style-type: none"> ・本との出会いを増やすことによって、読書活動を応援する。 ・加子母図書室の資料、利用方法を紹介し利用率を高める。 																											
具体的な活動内容																											
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日活動 ・加子母図書室での各月毎おすすめ本の展示 ・コミュニティーセンターへの移動図書 ・図書まつり ・研修の開催 ・学校図書司書さんとの話し合い ・通信発行 																											
主な活動の流れ																											
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月曜日活動・月毎おすすめ本展示・週日当番制書棚整理 <p>各月第一水曜日コミュニティーセンター移動図書・第二火曜日小学校読み聞かせ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日司書さんと話</td> <td>7日図書まつり</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27日司書さんと話</td> <td>30日研修</td> <td>12日通信</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td>2月</td> <td></td> </tr> </table>										1日司書さんと話	7日図書まつり						27日司書さんと話	30日研修	12日通信		4月	6月	8月	10月	12月	2月	
			1日司書さんと話	7日図書まつり																							
			27日司書さんと話	30日研修	12日通信																						
4月	6月	8月	10月	12月	2月																						
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）																											
<p>・今回は、新しく活動に参加してくれる人が増え、活動の幅がずいぶん広がりました。図書まつりでのハーブの講座など、今までとは違った趣向のものが提供出来たり、新たな活動や案も生まれています。・学校の図書司書さんと話して児童向けの本について教えてもらえました。・メンバーはボランティアなので、普段は仕事や都合で全員が揃っての活動はなかなかできないけれども、それぞれができることをできる時にやっていました。親しみやすく使いやすい図書室にしていく活動をいろいろな人を巻き込みながら地道に続けていくことが大切と思いました。</p>																											
今後の展開（自立に向けた活動）																											
<p>がんばる地域サポート事業のお陰で、やりたかったことを実行に移すことができました。そうすることでまた取り組む課題もみえてきました。今後はメンバーの学びの機会を増やしながらか、本の紹介に力を入れたり(読み聞かせ・展示・通信)、図書室でのイベントなどを仕掛けていきたいと思ひます。そして、本と人、人と人をつなげていけたらと思ひています。</p>																											

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



毎月おあめ本の
展示

11-7研修

移動図書



図書まつり、ブックコート



図書まつり、カード作り



図書まつり、本の展示紹介



図書まつり、11-7講座



図書まつり
読みかせ



平成 26 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つながるベンチのかい		地域名	付知		地区	
	つながるベンチの会		会員数	4		人	
ふりがな 代表者名	きたはらしんたろう		延べ 参加人数 内(会員数)	10 人(4 人)			
	北原信太郎			ソーラー武道館約1万人来場 木で繋がる展 約300人 木工教室(北小・南小6年)			
事業名	「ツナガルベンチ」イベント開催		実施期間	平成 26 年 6 月 5 日から 平成 27 年 3 月 20 日まで			
総事業費 内(補助金額)	483,325 円	(189,000 円)					
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	⑥・⑦	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	木材関連産業、林業への注目度や理解を深める目的で、地産木材を使い連結できる小型ベンチをパーソナルに提供し、小中学校や家族イベント、音楽イベントに参加する形で、木材や木製品をエコにつなげるものとして広く利用いただけるようにPRするため、会員が製作指導や木工教室、説明会等を行う。						
	具体的な活動内容						
	中津川the solar budokanでは、フードコートの休憩場所としてツナガルベンチを提供し、さらに出演アーティストにサインを入れてもうことで注目を高めた。「木で繋がる展」は開催者からのオファーで特別に展示として招へいしていただき、東京恵比寿でベンチをPRすることが出来た。また、展示品とは別に受注を取ることにも出来ました。付知北・南小6年生を対象に木工教室を実施。						
	主な活動の流れ						
			材料準備	材料準備	ソーラー武道館		「木で繋がる展」 木工教室(予定)
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	ソーラー武道館は2年連続の参加なので覚えてくれるリピーターもあり、アーティストの皆さんも恒例でサインを頂き、それが2月の「木で繋がる展」出品のきっかけになりました。「木で繋がる展」はテーマがよく似ていて展示自体をシンボリックに現すモチーフオブジェとして招いていただき、DM等にもメインの扱いで取り上げていただいた。こういった勢いをもっと活用して独自の企画を企てていればもう少し延び代がが出来ていたものと思います。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
大小イベントに出展して木の製品をPRする目的は重ねて参加することでかなり手ごたえを感じています。次のステップとして木の製品やそれにまつわる出来事を体感してもらったり実際に買い求めていただく。付知に人を呼び込み方法を考えていきたいです。							

※この様式は活動事例集と同一編集自由なので変更ないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



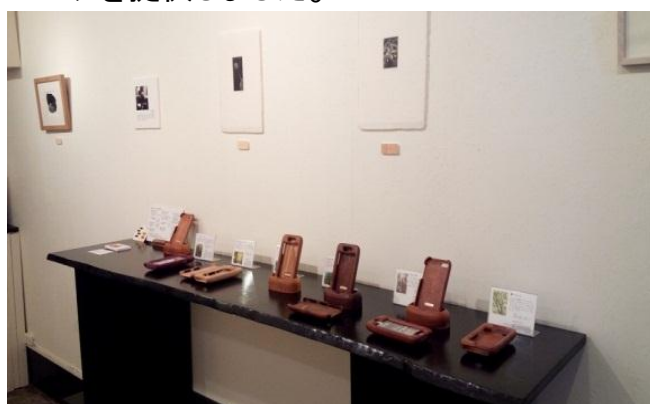
中津川ソーラー武道館では2つのブースでPRしました。



フードコート(食堂街)の休憩用ベンチを提供しました。



出演アーティストの皆さんにベンチにサインをもらいました。



「木で繋がる展」
関東の木工作家の作品 展示風景



「木で繋がる展」会場に「ツナガルベンチを」提供し、展示してもらいました。

『木で繋がる』展

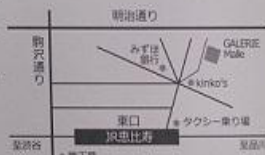
柴田優子、つながるベンチの会、Wood Face Hasegawa kamakura、 t.H creation
2015年2月10日(火)～15日(日) 12:00 - 19:00 (最終日16:00まで)

ツナガルベンチ

岐阜県・付知の、木にかかわる仕事をしている仲間が、昨今の厳しい情勢の中、少しでもみんなが寄り集い、何かを共感し、次の場につなげていく。そんな場所を提供し、地域の特産である「木」をPRすることを目的に興した「ベンチをつなげる」というイベントです。ベンチをつなぎ続ける、それはまた、「ひと」と「ひと」、「場所」と「ひと」、「時間」と「ひと」が「つながりつづける」こと。

GALERIE
Malle

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-8-3
TEL/FAX 03-5475-5054 mail Malle@GalerieMalle.jp
http://galeriemalle.jp



※2階(1階出口を出て東側ビルエスガレータを上ると東口のビル) 恵比寿駅東口より徒歩3分

平成26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	じいばあず じいばあず		地域名	付知 地区			
			会員数	8 人			
ふりがな 代表者名	ひらいわ てつこ 平岩 哲子		延べ 参加人数 内(会員数)	164人(164 人)			
事業名	地元産の豆、米を使って、味噌、甘酒、地だまり作り			企画会議 6+6+6+6=24人 第1回麴作り24人第2回麴作り24人 第3回麴作り24人第4回麴作り20人 第5回麴作り24人第6回麴作り24人			
総事業費 内(補助金額)	278,677円 (111,000円)		実施期間	平成26年4月7日から 平成27年3月10日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	④・⑦・⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的							
<p>地元産で採れた大豆・米を使って地味噌や地だまり等を作り、付知の味噌作りで地域活性化を図る。 味噌作りを通じて仲間との絆を深めていく。 付知の麴屋としての機能を果たせることを目指しての麴作り。</p>							
具体的な活動内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・来賓の方々をお迎えして、味噌、麴を使った料理の試食会開催(しょう味噌、きゅうりの味噌漬、味噌汁、鮭の甘酒漬等) ・備品の不足分の購入(ろじ、蒸し釜蒸し器、20ℓ容器)。 ・地域のスーパーから米麴の注文を受け販売。 ・じいばあずの活動を理解してもらった上で米麴販売。 ・付知町新年会会場にて地味噌の味噌汁を振舞う。 ・6回の麴作りを行う。 							
主な活動の流れ							
事業 内容	第1回会議	第3回会議	来賓を招いて地味噌の料理などの試食会開催				
	がんサポ申請書提出	麴の販売について	米麴作り・販売				
	第2回会議	今後の日程について	各自で麴製品作成	米・麦・豆麴作成			
	今後の活動について	米麴作り・販売	米・麦・豆麴作成・味噌の仕込み				
4月	6月	10月	11月	12月	2月	3月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
<ul style="list-style-type: none"> ・6回の麴作りで、回を重ねるごとに、蒸した材料が麴として完成するまでの昼夜問わず3日間の2～3時間おきの温度、湿度管理の適切なローテーションを組めるようになり、省力化が図れた。 ・麴作りの活動では、労務費を賄うまでには至らなかった。 ・付知町新年会での地味噌の味噌汁は好評であった。 							
今後の展開 (自立に向けた活動)							
<ul style="list-style-type: none"> ・麴作りの技術と作業工程はいまだ未熟であるため、今後も引き続き作業の効率化と技術の習得に努め、その技術を継承していきたい。 ・イベント等に参加し、地味噌で作った味噌汁や甘酒などを無料配布しながら、団体の活動と自分たちで作った味噌をPRし、麴作りや味噌作り、地味噌の本当の味を地域の人に知ってもらう。 ・さらに活動に興味をもってもらうことで、地域の仲間を増やしていく。 							

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

購入した20リットルの器で材料を洗い、ふやかす。



蒸かす器具をもう一基購入し蒸かし時間を短縮



清潔な新品のろじが出来上がりました。容量が大きくなり扱いがしやすくなりました。



来賓の方々をお迎えして、麴と地味噌を使った料理の試食会開催



付知町新年会会場にて味噌汁の振舞い



清潔な環境で麴作りをするため、作業着を作りました。



ふりがな 団体名	たせごぞばかい		地域名	田瀬		地区
	田瀬ごぞば会		会員数	29		人
ふりがな 代表者名	くさの くみつ		延べ 参加人数 内(会員数)	107		人(29 人)
	草野 國満					
事業名	遊歩道環境整備					
総事業費 内(補助金額)	202,400円 円 (200,000円 円)		実施期間	平成 26 年 7 月 1 日から 平成 27 年 3 月 20 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号		③
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内容	事業の目的					
	3年前、付知川のほとりに北グランド、消防署、区民会館と公園を田瀬の中心に、諸施設が出来た後の川近く付近が雑木等荒れていた土地を、手をかけて歩ける場所にするために環境整備事業に取り組んだ。					
	具体的な活動内容					
	高齢者をはじめ、市民の集える親睦と体を動かせる場づくりを年次別に、期間内に工事を終えるよう計画をし、終えることができた。田瀬区の協力により適した土砂を大量に搬入ができて整備することができた。					
	主な活動の流れ					
		雑木切り	草刈	土砂運搬	整地作業	
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）					
諸施設の建設に合わせ、当初から桜の木・もみじの木等に成長して春も秋も楽しむことが出来るように併せてマレットゴルフ場が完成してすばらしい環境整備事業ができた。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
マレットゴルフの練習を中心に楽しんで活動ができる様に盛り上げて、体と心の健康をモットーとして年中続けられるように努力します。 今後は清流付知川の観光資源を有効に活用するために、島田橋まで堤防を兼ねた歩道を考えています。						

※この様式は活動事例集と同一編集の自由なので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

着工前



土砂を運搬後の整地作業



人力で均しています。 1



人力で均しています。 2



完成



対岸から



ふりがな 団体名			地域名	地区		
	付知川ヤングあゆ釣りスクール実行委員会		会員数	10	人	
ふりがな 代表者名	おおやま やすひこ 大山 安彦		延べ 参加人数 内(会員数)	100 人(10 人)		
				生徒 29名 保護者、会員 71名		
事業名	付知川ヤングあゆ釣りスクール実行委員会					
総事業費 内(補助金額)	249,000円	円	実施期間	平成 26 年 7 月 1 日から		
	(200,000	円)		平成 27 年 3 月 20 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	③	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	「あゆ掛け」を含めた魚釣りが、他の遊びの興味心に押され大自然での遊びが気薄化がみられているため、親子を含め楽しんだあの釣りの醍醐味、大自然の中で遊ぶ楽しさをもう一度子どもたちに体験させたい。					
	具体的な活動内容					
	日時	アユ釣りスクール 日程 7月29日 (火)				
	年齢対象	小学校4年生から中学生				
	場所	付知川(田瀬区民会館付近)				
	参加者	生徒29名				
	その他	8月 ふるさとまつり ます釣り大会				
	主な活動の流れ					
		4月	6月	8月	10月	12月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
地元の子供たちが、普段では関わらない付知川を魚釣りを通して、青川である川を親しんでいただくと共に、魚釣りの楽しさや興味を持っていただいた。 これを後世に引き継ぐことにより、きれいな付知川を保つことで出来ると信じている。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
今後は、地元の子供・周辺への地域の子供たちなどにも声をかけ、青川である付知川を活用し、引き続き魚釣り(アユかけ)を通しておこない、勉強会などを開き自然の大事さを知ってもらうよう伝えていきたい。						

※この様式は活動事例集として編集し自由に変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

参加者受付



記念撮影



釣りを行ってます



指導をおこなっています



何匹、釣れたかな？



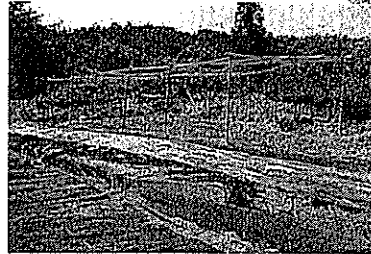
修了証を受けての記念撮影



ふりがな 団体名	ひるかわげんきむら	地域名	蛭川	地区																															
	ひるかわ元気村	会員数	8	人																															
ふりがな 代表者名	おだ ほづみ	延べ 参加人数 内(会員数)	207 人(200 人)																																
	小田 保津美		※出店イベント及び日時指定の集 作業等への参加人数(主に会員) ※イベント等への来場者数は不明																																
事業名	がんばる地域サポート事業																																		
総事業費 内(補助金額)	440,000 円 (仮)	実施期間	平成 26 年 6 月 10 日から																																
	(126,000 円)		平成 27 年 3 月 10 日まで																																
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	③ ④ ⑤ ⑦ ⑩																														
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流																															
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育																															
③前の二つの他、地域づくりの親縁に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他																																	
事業の目的																																			
<ul style="list-style-type: none"> ●蛭川地域の住民・土地・流通環境の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・蛭川在住者(高齢者等)の生甲斐・コミュニケーションの向上と育児支援 ・蛭川産農産物・加工品等のブランド化 ・蛭川地域内遊休地の利活用 ・既存商店・飲食店の活性化 ・人口増(イターン・Uターン支援・促進、パーチャル村民登録による消費者拡大) 																																			
具体的な活動内容																																			
<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全な農作物等の加工品のブランド化(現在取組み中) <ul style="list-style-type: none"> ①ブランド化に向けた農作物及び加工品等の検討、共有農場における安心・安全な農作物の栽培 <ul style="list-style-type: none"> ○H26年栽培農作物：落花生、大豆、小豆、黒豆、花かぼちゃ、ヘチマ ○加工品：茹で落花生、味噌、干柿、漬物等 ②販売ルートの開拓と商品の販売・PR活動(各種イベント等への出店、予約販売) ③高齢者農家等によるブランド化農作物の委託栽培(生産量の拡大と老人の生甲斐創出、休遊地の活用) ●休遊地を活用した農業体験農地の提供 <ul style="list-style-type: none"> ①市街地在住の農業体験希望者に休遊地等を活用した体験耕作地及び農機具等の提供とコミュニケーション(畑の所有者が日々の管理と農作業指導を行い、利用者とのコミュニケーションを図る ⇒ イターン促進) 																																			
主な活動の流れ																																			
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>・落花生、大豆等の栽培</td> <td></td> <td>・収穫、加工、販売</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・休遊地の耕作</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・味噌づくり会(2/16)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">・どうさん菜市(6/21、7/19、10/18、11/8、3/2) ・MAIKA祭出店(11/3)</td> <td></td> <td>・映画上映会支援(3/1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・農業参入セミナー(7/31)</td> <td></td> <td>・月例MTG(毎月最終日曜日)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>6月</td> <td>8月</td> <td>10月</td> <td>12月</td> <td>2月</td> </tr> </table>							・落花生、大豆等の栽培		・収穫、加工、販売				・休遊地の耕作				・味噌づくり会(2/16)		・どうさん菜市(6/21、7/19、10/18、11/8、3/2) ・MAIKA祭出店(11/3)				・映画上映会支援(3/1)		・農業参入セミナー(7/31)		・月例MTG(毎月最終日曜日)			4月	6月	8月	10月	12月	2月
	・落花生、大豆等の栽培		・収穫、加工、販売																																
	・休遊地の耕作				・味噌づくり会(2/16)																														
	・どうさん菜市(6/21、7/19、10/18、11/8、3/2) ・MAIKA祭出店(11/3)				・映画上映会支援(3/1)																														
	・農業参入セミナー(7/31)		・月例MTG(毎月最終日曜日)																																
4月	6月	8月	10月	12月	2月																														
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)																																			
<ul style="list-style-type: none"> ●どうさん菜市・エキマエLIVE&MARKETの出店では、販売する商品(地元の野菜等)の確保に毎回苦労したが、常連客もでき徐々に売上が安定すると同時に「ひるかわ元気村」のPRを図ることができた。 ●元旦マラソンにおいて「しるこ」の提供を行う予定であったが、悪天候のため中止となった。 ●今年度はMAIKA祭や映画上映会への応援出店等、地元におけるイベントへの参加機会が増えた。 ●「茹で落花生」の評判が非常に良く、予約分を確保も充分確保できなかった。 ●大豆、小豆、黒豆、ニンニク、玉ねぎ、クレソン、ヘチマ等の栽培も行ったが、計画通りの作業ができず収穫量も出来栄も満足できる物にはならなかった。 																																			
今後の展開(自立に向けた活動)																																			
<ul style="list-style-type: none"> ●落花生生産の拡大(今年度の2倍)と大豆・小豆等の適正時期に苗植付け作業を実施 ●活動協力者の増員により、生産量の拡大とイベント等での人員確保を図る ●CSA方式による農作物栽培を行うことで、栽培野菜等の確実な消費と採算性の安定を図る ●加工作業場所及び保管施設の確保(衛生・販売許可等の申請)と農業用機材の充実 ●落花生以外のブランド化商品の検討と栽培に挑戦!(小麦、蕎麦、荳胡麻、山菜等) ●休遊地を利用した農業体験希望者の受入れ体制の検討と土地所有協力者の確保 																																			

【休遊地の活用】

耕運機、トラクターで畑として利用できるよう耕し、今回は黒豆・花かぼちゃ・ヘチマを栽培

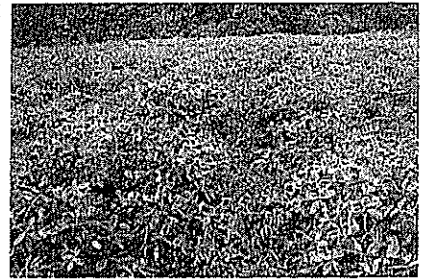


■町切地内と下沢地内で実施

【落花生の生産と茹で落花生の商品化】



■落花生より大きくなった雑草の除去作業



■収穫開始(10月～11月)

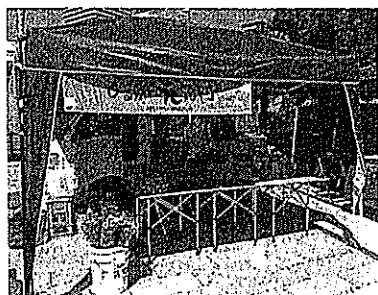


■収穫した落花生



■販売用に加工・商品化した
「ひるかわ元気村 茹で落花生」

【販売イベント等への出店】



■どうさん楽市／エキマエLIVE&MARKET
6/21、7/19、9/14・15、10/18、11/8、(岐阜駅北口)



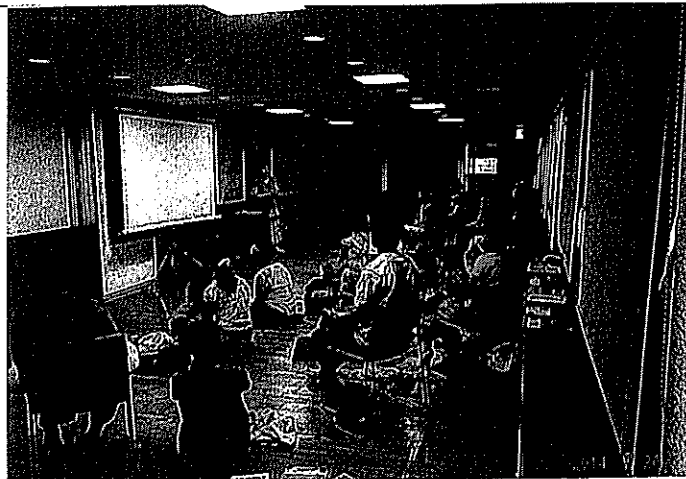
■MAIKA祭 11/3

平成 26年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

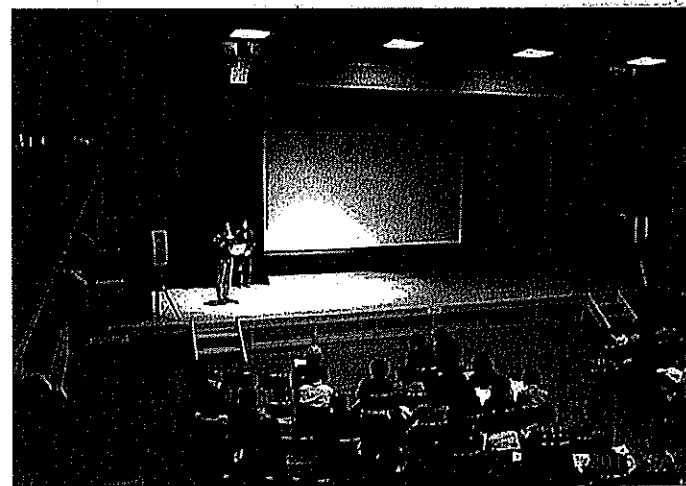
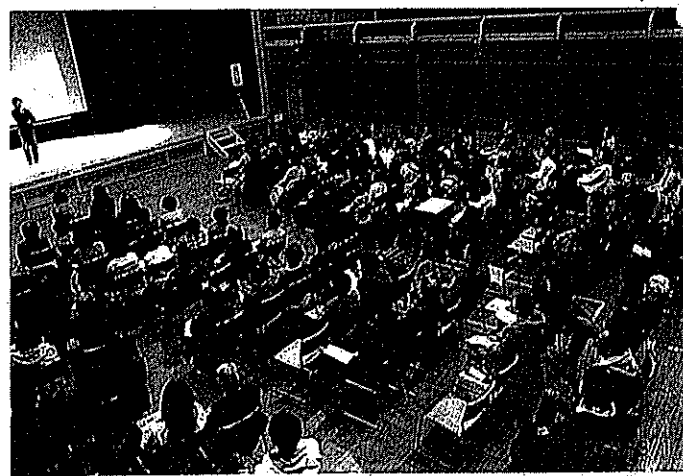
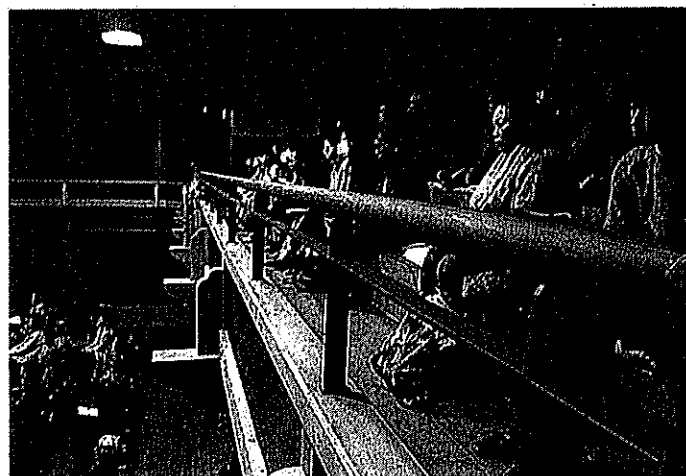
団体名	いのちもり	地域名	蛭川	地区		
	いのちもり	会員数	15	人		
代表者名	ふるた ひろゆき	延べ参加人数(会員数)	430 人(15 人)			
	古田浩之					
事業名	映画 上映会					
総事業費 (内補助金額)	615,700 円	実施期間	平成 26 年 7 月 1 日から			
	(94,000 円)		平成 27 年 3 月 20 日まで			
事業分類	番号	③	活動分野	③・⑩		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親履に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業内容	事業の目的					
	<p>・いのち、生き方、子どもたちの未来について考えたり、語り合ったりする機会が少ない現状の中で、純粹に生きていくうえで大切なことに関して今まで以上に興味を持ち、そのことに関して考えたり、語り合ったりするきっかけづくりを目的とする。</p> <p>・視覚、聴覚から直接入ってくる映画上映により、上記の目的達成を図る。</p>					
	具体的な活動内容					
	<p>・大きな会場での上映会に加え、小さな会場でのミニ上映会も開催する。</p> <p>・上映会のみならず、目的達成のための集いを開く。(助産師のお話し会など)</p> <p>・他の助成も活用しながら、子どもたちが元気に育つ自然環境(山の手入れ)づくりを行う。</p>					
	主な活動の流れ					
	助産師お話し会		ミニ上映会「カンタ・ティモール」	ミニ上映会「カンタ・ティモール」		
	7月	8月	10月	12月	2月	3月
						「降りてゆく生き方」上映会
具体的な活動成果(失敗や苦勞したことも記入ください)						
<p>・振興会、商工会などからの応援もいただき、今まで以上に蛭川の方々に参加していただくことができた。これからも、一人でも多くの地元の方々からの応援をいただき、蛭川にこの活動を広めていきたい。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>・蛭川で活動する団体と協力しながら、立ち上がったばかりの わくわく組合 の活動を盛り上げていきたい。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



助産師さんのお話



映画降りていく生き方上映会

この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

ふりがな 団体名	くらぶ やげん クラブ「薬研」	地域名	蛭川 地区		
ふりがな 代表者名	どいれいじ 土井鈴治	会員数	12 人		
事業名	一色川の環境保全と森林資源の活用	延べ 参加人数 内(会員数)	221 人(59 人) 準備、打合せ・14回55人(28人)各テナント出店・3回36人(16人) 整備事業・2回33人(10人) 交流会事業・1回97人(5人)		
総事業費 内(補助金額)	203,035 円 (93,000 円)	実施期間	平成26年6月5日から 平成27年2月25日まで		
事業分類	番号	①	番号	③⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
	活動分野				
事業内容	事業の目的				
	少子化傾向にある子どもたちに、大切な地域の自然環境を守る つなげる 為に、蛭川一色地区の薬研山を源流とする一色川を保全できる子どもたちが積極的に地域の行事、イベントなどに参加しながら、三世代間の交流を図るとともに、思い出作りをし、地域に愛着を持ってもらう。又、社会に出て蛭川地域を外から捉え、自分達が生活していた地域を自分達で住みやすく、守る意識を持って、蛭川に戻り地域を元気にする環境づくりを実施する。				
	具体的な活動内容				
	8月の夏祭り、安弘見神社境内での盆踊り、11月のMAIKA祭とテナントを3回出店し運営の段階から子どもたちを含め保護者の方にお手伝いをお願いした。一色地区での行事、イベントは6月に一色川の環境整備、8月の三世代間交流、このイベントには隣区の一之瀬区、両区の社会福祉協議委員とも連携し四世代の交流が出来、アユつかみ大会では子どもたちと一緒に川掃除から始まり、アユ焼きは火起こしから始サバイバル経験をした。年明け1月はどんと焼き どんとの製作も高学年を中心に作業した。[助成金の実施期間外ではあるが2回イベントの出店がある]				
	主な活動の流れ				
		*遊歩道下見			
	*一色川環境整備		*テナント出店(MAIKA祭)		
		*世代間交流会	*テナント出店(夏祭り・盆踊り)		
4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したことも記入ください。)					
事業の中で前年同様重要視している三世代間交流、本年はアユつかみで昨年のマツつかみより評判がよく歓声があがっていたがアユが高額なので予算的にきつかった。しかし、地域のみなさんが好意的に協力してくれた事で(前年の反省イベントの周知を徹底)老若男女盛り上がりを見せた。ケガや事故も考慮しつつ屋外のイベントが多いので寒暖、食品衛生にも配慮していたが、子どもたちはこちらが心配するよりタフで良い意味で優等生タイプがいなく こどもらしくホッとした。					
今後の展開 (自立に向けた活動)					
活動目標である森林資源の有効活用、地域の特産品の加工等を本年より具現化し、薬研山付近で昨年切り出した間伐材で木工製品を加工、製作し少額ながら販売までする事ができた。今後は販売ルートの確立が課題である。中津川市の姉妹都市である上対馬町の特産品 対馬のスルメ で蛭川に古くから伝わる [スルメの麴づけ] をメンバーがつくり(スルメは対馬の水産会社より無償提供)レシピと共に送り上対馬で試食していただきました。評判は上々で両地域の特産品で更なる経済の交流、薬研クラブの自立に向けた事業展開を計画している。					

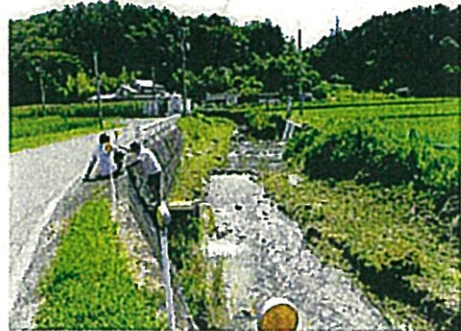
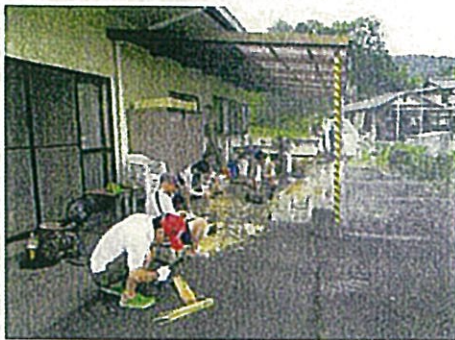
活況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



夏祭り



MAIKA祭り



一色川整備



四世代間交流会



この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

ふりがな 団体名	かしがねちいきのかんきょうをまもるかい 柏ヶ根地域の環境を守る会		地域名	柏ヶ根 地区			
	ふりがな 代表者名	はやし とみよ 林 富世		会員数	22		
		事業名	柏ヶ根地域の環境を守り、住み良い所にする		延べ参加人数 内(会員数)	140人(134 人)	
			総事業費 内(補助金額)	86,494円 (61,000円)		実施期間	平成 26年 6月 3日から 平成 27年 2月 22日まで
事業分類	番号	①		活動分野	番号 ③		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親属に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的							
柏ヶ根地域の環境を守るとともに住み良い所にする。会員同士助け合いの心を持って絆を深める。							
具体的な活動内容							
里山、柏ヶ根川の雑草木の伐採を実施し鳥獣害から地域を守り美化に努める。 野菜作り(じゃがいも、さつまいも、ダイコン他)をして販売したり、自分達の芋煮会等の親睦会にも利用する。							
主な活動の流れ							
	役員会 野菜の植付け	公園草刈り 河川清掃 里山雑草木伐採	焼肉会 里山メッシュ張り 公園草刈り 河川草刈り	里山草刈り 里山に花木植付け	里山整備 河川清掃 役員会	里山伐採 石積水路修繕 小屋解体手伝い	
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
会員同士のきずなが深まり、助け合いの精神とボランティアの心が芽生えた。 野菜は、なかなか販売するような物が出来なかった。							
今後の展開 (自立に向けた活動)							
今後もこの活動を続けて子どもから老人までが住みたい地域を造るとともに後継者の育成にも努力したい。							



焼肉会の準備



長田洞水路の雑草木の整備清掃



道路、水路付近の里山の雑草木の伐採



里山雑草木伐採



柏ヶ根口花壇の植付

平成 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

この様式は任意集約集として編集しますので変更しないでください

団体名	虫喰いママさん朝市会	地域名	和田地区
代表者名	たまたに やえん 王谷 ハ童子	会員数	人
事業名	てづくり虫喰い朝市 イベント 渡辺武子先生子育て講座	延べ参加人数 内(会員数)	人(人)
総事業費 内(補助金額)	円 (円)	実施期間	平成26年 6月 2日から 平成27年 月 日まで

事業分類	番号 (3)	活動分野	番号 (10)
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他

事業の目的

てづくりのものを通して、世代を超えて地域の交流
子育て交流や勉強会が親子のふれあいを増やす

具体的な活動内容

年に3回のイベント「うさかわてづくり朝市」を開催
子育ては、岐阜から 渡辺武子先生をまねいて、命のふれあいを子育て
講座を開催

主な活動の流れ

イベント 準備	4/30 第1回 てづくり朝市 朝市開催	6/30 第2回 てづくり朝市 朝市開催	8/30 第3回 てづくり朝市 朝市開催	11/30 第4回 てづくり朝市 朝市開催	1/21 渡辺武子先生 子育て講座 開催	2/20 第5回 単体 7/7 渡辺武子 先生子育て講座
	4月	6月	8月	10月	12月	2月

具体的な活動成果 (失敗や苦労したことも記入ください。)

チラシなどの宣伝効果もあり虫喰い内外から問い合わせが
来ていた。また、スタッフがまだ子供が小さいから、朝市開催の準備が
かかることや、考え、とわくが、それぞれだということ、悩んでいるところがある。

今後の展開 (自立に向けた活動)

年になるべく3回の定着したイベントにすること
余裕ができれば 出店などして 資金をつくる

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



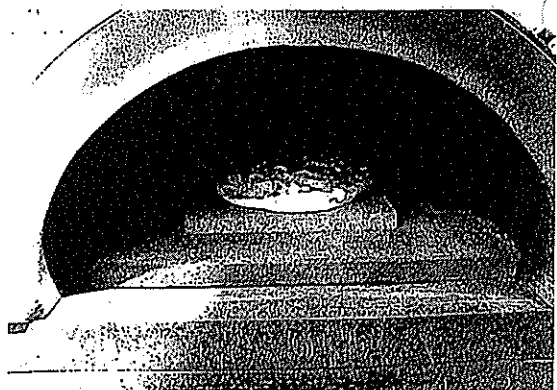
ママさん
手作り朝
市

↑
← 朝市の様子

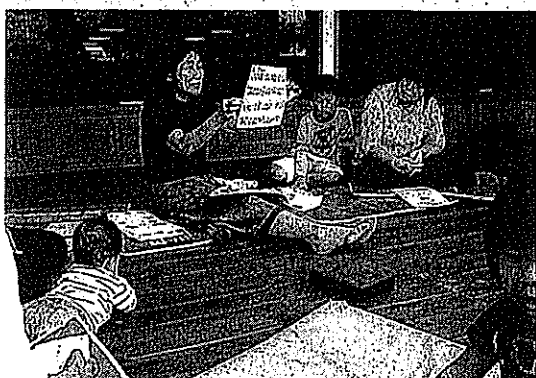
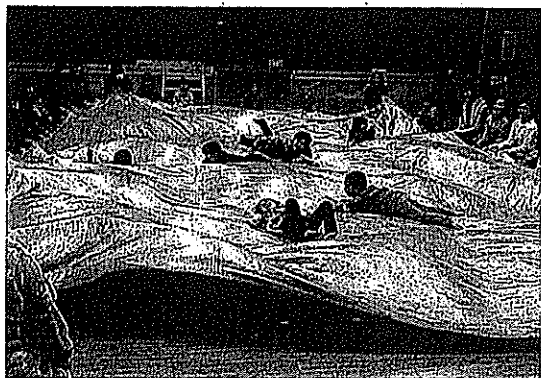
朝市会で
作った
カレー→



石釜ピザ



渡邊武子先生の
子育て講座



ふりがな 団体名	なかせんだうおちあいしゆくかんこうかつせいかけんきゅうかい		地域名	落合	地区		
	中山道落合宿観光活性化研究会		会員数	16	人		
ふりがな 代表者名	みずの かつし		延べ 参加人数 内(会員 数)	80人 (16人)			
	水野 克司			・ 検討会	56人		
事業名	中山道落合宿観光活性化事業			・ 現地調査	16人		
				・ 看板設置作業	8人		
総事業費 内(補助金額)	505,619円 (500,000円)		実施期間	平成 26 年 6 月 11 日から 平成 27 年 3 月 10 日まで			
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		④	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉	②生活安全	③環境	④観光・交流
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業	⑥林業	⑦商業	⑧工業
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習	⑪その他			
事業 内容	事業の目的						
	<p>■平成22年2月に国史跡に指定された落合宿の観光活性化を図ります。</p> <p>①岐阜の宝ものに認定された中山道落合宿に多くの観光客を誘客することで賑わいを創出し地域の活性化に資する。</p> <p>②多くの観光客が訪れることで地域住民が自分たちの住むまちの歴史・文化そして魅力を再認識することで、郷土への愛着心を育てることができる。</p> <p>③国史跡や登録文化財だけでなく落合地区内の中山道に静かにたたずんでいる石仏等に標柱を設置することで観光のまちのイメージアップを図る。</p>						
	具体的な活動内容						
	<p>■落合地区内の中山道を徒歩により名称案内板、方向案内板等を調査し課題の把握を行った</p> <p>■上記の調査により案内板設置・撤去・移設・表示の修正・訂正が必要な箇所が43箇所あり、約20回の検討委員会を開催しその中から9箇所を今回の事業対象とし実施した。</p> <p>■観光客にとって案内板が必要な場所に新たに案内板を設置した。</p> <p>■国史跡や登録有形文化財だけでなく、石仏・馬頭観音など中山道に静かにたたずむ文化財の標柱を設置した。</p>						
	主な活動の流れ						
			検討委員会	→			
			現地調査	→			看板設置 →
		4月	6月	8月	10月	12月	2月 3月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
	<p>■この事業を実施するにあたって、文化振興課、観光課及び落合事務所の指導、協力を得て協働で実施することにより地域と行政の観光案内板に対する共通認識を得ることができた</p> <p>■観光客の来訪目的は、その地域の観光資源や風景・風土、文化等にふれることであり、観光情報の提供等受け入れ環境の整備はあくまでそれを支援するためである。案内標識では位置案内に関する情報を中心に、多数の人に共通の基本的な情報を分かりやすく表示すべきであることが、活動を通して理解することができた。</p>						
今後の展開 (自立に向けた活動)							
<p>■パートナーとして活動していただいた文化振興課、観光課と連携し補助事業等を活用して今回、実施できなかった案内板の補修や新設を行い、観光客に楽しく歩いてもらえる環境づくりを目指します。</p> <p>■中山道の資源を活用した事業展開を市と協力して進めていくよう努めます。</p> <p>■落合宿のみならず、市内の案内看板、指示標識のガイドラインを作成することが急務と考えられますので、市において地域団体も含めた検討委員会の設立を要請していきます。</p>							

※この様式は活動事例集の□□編集□□自由□□の変更□□□□□□□□

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

■ 落合宿「上町の常夜燈」国史跡に指定されていますが何故か案内看板が2枚！？



■ 現地調査を実施

■ 指示板：恵那市は距離が記載されているが中津川市はない！



■ 約20回の検討委員会を開催

■ 公民館まつりで設置個所を周知



■ 医王寺設置前

■ 設置作業中

■ 設置完了



平成 26 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかつがわなかせんどうれきしぶんかけんきゆうかい		地域名	全国	地区		
	特定非営利活動法人中津川中山道歴史文化研究		会員数	97	人		
ふりがな 代表者名	いちおかふみひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	人(73 人)			
	理事長 市岡文彦			中山道落合宿実地見聞探訪 5回15人 資料収集及び編集会議 13回43人 下書き原稿作成日数 2ヶ月 原稿検討会議 10回37人			
事業名	小中学生向け小冊子「中山道落合宿かいわいーさんぽー」編集事業		実施期間	平成 26 年 7 月 29 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで			
総事業費 内(補助金額)	560,000 円 (500,000 円)						
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	「わが町、わが村に誇りを！」 中山道の歴史を子どもたちに少しでも分かり易く伝えるための資料として、中山道歴史資料館(文化振興課)との協働により編集・発刊して、歴史を学び、先人を尊崇する一助としたい。						
	具体的な活動内容						
	実際に落合宿へ実地踏査(新茶屋～三五沢)をする。 史跡等の近在の人から話を聞く。 可能な限り編集会議を多く実施する。 親子で学びあえるような編集を考える。 出前授業を考慮においた編集を考える。						
	主な活動の流れ						
				実地踏査・見聞・資料収集 下書き原稿作成 → 締切			
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
読合せ・検討 → 完成							
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
実際に現地(落合宿)へ取材に行った。その住む人により詳しく話を聞いて、取材することが必要であった。 NPO会員の高齢化により現地で資料収集にあたる人数が限られた。また、電子機器の扱いのできる人が少なく、まとめて時間がかかった。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
学校だけでなく、要請のあるところへは出前講座に出張・販売 六斎市などにも講座を開講・販売 協力願える区長さんへの働きかけ等により資金を蓄え、次の資料への足がかりを作る。							

※この様式は活動事例集として編集し自由に変更しないでください

編集会議



ロケ現場写真の選択



善昌寺



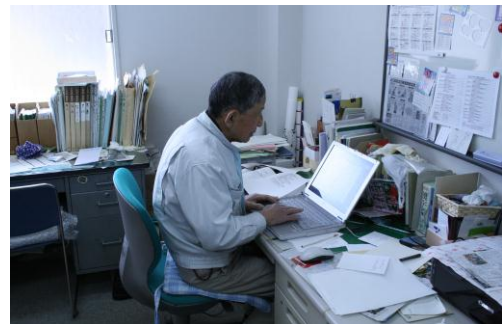
医王寺



石畳



本陣



編集打ち込み作業